

工 団 連

発行所
 一般社団法人 東京工業団体連合会
 東京都中央区銀座2-10-18
 東京都中小企業会館5階
 電話 (03) 3546-2525
 F A X (03) 3546-2853
 (購読料1部100円、年間600円 会費より徴収)
 http://www.tokyo-koudanren.or.jp

今月号の紙面

地域・団体からの報告・お知らせ 2面
 都産技研からのお知らせ…… 2面
 工団連からのお知らせ…… 3面
 東京ビッグサイトイベント案内… 3面
 生命・退職金共済のお知らせ 3面
 企業リレー探訪…………… 4面
 東京ビッグサイトからのご案内… 4面

令和2年度

国・東京都に対する工団連の予算等要望

東京工業団体連合会は、「令和2年度国・東京都予算等に関する要望」を取りまとめ、8月22日東京都庁において都議会自由民主党及び東京都産業労働局、更に10月1日には永田町党本部において自由民主党東京都支部連合会に対して要望書を出した。また、7月30日には都民ファーストの会東京都議団と都議会公明党に対しても要望を行った(9月号既報)。要望に対しては、今年度も各党・会派より工団連の活動に対する理解と支援の言葉をいただいた。今後は小池都知事への要望を残すのみとなる。

都議会自民党では初めに、鈴木章浩幹事長より「東京の活力の源である中小製造業を束ねる工団連の活動への敬意と謝意が述べられ、更に中小ものづくり企業を取巻く環境の厳しさに触れられた。そのうえで中小製造業の支援団体たる工団連の重要性と活動への期待を述べられ、今後の支援継続への力強い言葉があった。

続いて、工団連舟久保会長が、「東京の中小ものづくり産業の振興ならびに、工団連の事業運営への多大な支援・協力へのお礼と今後の変らぬ支援」をお願いした。

特に平成24年度よりスタートし工団連の主要事業と位置づけられる「ものづくり基盤技術強化支援事業」(専門家派遣事業)「依頼試験等助成事業」

東京都議会自民党、自民党東京都連、東京都に要望

意見表明など活発な意見交換がなされた。さらにその後、都庁本庁舎に場所を移し、産業労働局長はじめ局幹部へ要望と東京都知事への予算等要望書提出の要望を述べた。

のつくりに対する教育の現状と課題について質問があり意見交換がなされた。舟久保会長からは、「キャリア教育、職場体験授業の現状と重要性」に対する説明がなされた。都連からは、今後

も変わらぬ支援の言葉があり、会は終了した。工団連は、今後も都内のものづくり中小企業の支援のために、東京都議会・東京都ならびに自民党東京都連と緊密に連携し活動を進めて行く。

【中小製造業に関する要望(重点要望)】
 1 中小製造業の事業継続と拡大について
 (1) 新製品・新技術開発・事業化に対する支援を継続するとともに、使い勝手の改善やソフトウェアの支援を強化するなど、より利用しやすい制度となるよう拡充を図りたい。また、支援後の効果についても検証されたい。
 (2) 自社技術の用途開発や高度化に対するアドバイスから販路開拓までの、資金、技術、人材等の一貫した支援体制を強化されたい。
 (3) 中小・小規模企業の設備投資(省力化のための自動化機械・装置、ロボット等)への助成金や金融支援を継続するとともに、助成金申請・報告手続きの簡素化など効果的な運用をされたい。
 (4) 地域のものづくり企業が中心となり、複数の企業(技術・特徴・得意分野を活かして)で一つの製品(部品)を製作するなど、技術力のネットワークを活用して取り組むプロジェクトに対する支援を拡充・強化されたい。
 (5) ものづくりとIT技術との融合による需要開拓・新製品開発・販路拡大への支援を強化するとともに、人材育成や試験研究機関との連携を支援されたい。
 (6) 中小企業経営者の高齢化などによる廃業は、高い技術やノウハウ、雇用の喪失となり、地域経済にとって大きな損失となることから、従業員や第三者への事業承継するためのマッチング、M&Aに関する支援、融資制度を拡充されたい。
 (7) 職業能力開発センターは、中小企業が求める即戦力となるものづくり人材育成機関であるが、センター機能を拡充し、地域特性やニーズに応じたカリキュラムや最先端設備を導入するなど、産業人材の育成への支援を強化されたい。
 (8) ものづくり現場への就業意識を高めるため、学校が取り組む中学生の職場体験事業や小学校高学年の工場見学など、ものづくり体験・イベントや教員の民間企業等体験研修の受け入れには地元中小企業の協力が不可欠です。キャリア教育の普及に協力する中小企業への負担軽減など、



都議会自民党への要望



東京都への要望



都議会自民党への要望



自民党東京都連へ要望

支援の仕組みを構築されたい。
 (4) 高校生に対するインターンシップ制度やデュアルシステムの中小企業への利用拡大を進めるとともに改善・拡大に向けた取組みを引き続き実施されたい。
 (5) なお、その際は受け入れられる企業の負担軽減を図られたい。
 (6) 中小製造業のネットワーク強化について
 (1) 東京工業団体連合会の事業運営が円滑に遂行できるよう、引き続き組織体制の強化に対する支援と会員団体から要望の多い、ものづくり基盤技術強化支援事業予算の増額を図られたい。
 (2) 東京工業団体連合会の組織力を強化するため、多摩地域で新たな会員を獲得できるよう、都からも地域金融機関や市町村、工業組合等への働きかけを支援されたい。
 (3) 防災対策としての、工場等の建築物の不燃化・耐震化や地震、水害、集中豪雨対策などに対する助成、長期低利融資等の支援を拡充されたい。
 (4) 中小製造業が防災対策等で事業継続に必要な電力を確保するために、自家発電機や蓄電池等の設備を導入する費用の助成を継続されたい。
 (5) 中小企業の防災対策を推進するため、事業継続計画(BCCP)の策定や事業者向けのセミナーの開催などのほか、バーチャル・リアリティ(VR)を活用した災害(避難)対策の強化など、災害などの備えに対する多面的な支援策を講じられたい。
 (6) オリピック・パラリンピックの開催に向けた受注機会の確保について
 (1) 「ビジネスチャンスナビ2020」の操作・活用方法を一層周知し、更なる発注案件の掘り起こしで、より多くの中小企業が受注機会を得られるよう支援体制を強化されたい。
 (2) オリピック・パラリンピック後も「ビジネスチャンスナビ」が中小企業の受注機会の拡大と販路開拓に繋がれるよう、活用方法を検討されたい。
 (3) 中小企業の情報セキュリティ対策について
 (1) 経営資源が限られた中小企業であっても、十分なセキュリティ対策ができるよう、アドバイスや普及啓発、安全対策導入・運用に対する支援措置を講じられたい。
 (4) 企業単体ではなかなかセキュリティ対策を進めることが難しいため、中小企業団体が会員企業等と協力して対策に取り組む場合の支援策の拡充を図られたい。
 (5) 製造業における外国人材の受入れについて
 (1) ものづくり中小企業においても人手不足は深刻であり、採用にあたっての法的手続きや留意事項について周知する外国人労働者受入れセミナーの開催や外国人労働者との交流の場を設けられたい。また、製造業における受け入れ対象業種の拡大やものづくり人材の受入れについても長期間の就労・定着が可能となるよう、社会的基盤の整備・促進について国への働きかけをされたい。
 (2) 今年度は、11月の都知事への予算等要望を残すのみとなるが、都内ものづくり中小企業の代表として、ひきつづき会員団体(企業)支援のための活動を全力で進めて行く。

地域団体の活動報告

世田谷・文京・江戸川・板橋・北の5団体は、今秋「ものづくり基盤技術強化支援事業」・「工団連共催セミナー」事業等を積極的に活用し、会員企業を支援した。

「ものづくり支援活動」の実施

世田谷工業振興協会は10月3日～5日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展2019」に出展した。

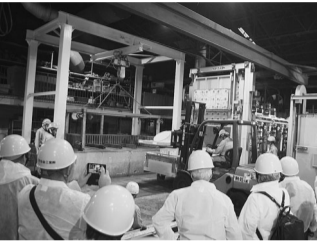
ブースでは本年度も、区内企業5社が共同で開催したゾーラー避難誘導塔「A-E-TOWER」や、放射線線量計を展示し来場者に特徴をしっかりとPRした。



世田谷ブース



江戸川工場協会視察



板橋産連視察



北産連共催セミナー

会場には多くの地方自治体や民間企業の防災関係者が来場し、活発な情報交換が繰り返された。

この間の継続出展により、更なる成果を期待したい。

また、文京区商工協会は9月5日、会員企業18社28名の参加で、視察先の1つである多摩高度化事業協同組合は工団連加盟の団体であり、先進的な企業が加盟し活発な活動を展開している。

説明の後、同組合を代表する研究開発型事業「メロンの水耕栽培工場」等ユニークな施設を視察し、見聞を広めた。

また、2つ目の視察先であるものづくり企業「高年齢者雇用優良事業所」として厚生労働大臣表彰を受けるなど、労務管理でも先行している。

また、2日目は近年注目度が増している燕三条工場祭で3社を視察。2016年には会員企業4社

が同祭の東京ブースに出展した経緯もあり、ものづくり集積地としての板橋ブランド構築強化に向けた成功事例として今後の活動に生かして行く。

今回の視察は優良な中小企業の身近な成功事例として、事業開発、人材育成・外国人材雇用など多面で学ぶべき事例として参考になったと同時に、遠隔地の産業団体との連携は産業防災の視点からも重要と考え、今回の視察を今後の交流の一歩としたい。

また、2日目は近年注目度が増している燕三条工場祭で3社を視察。2016年には会員企業4社

の要件に対応するポイントが分かり易く説明された。終了後は、個別に講師に質問する参加者もあり、本テーマに対する関心の高さが伺えた。

世田谷・多摩高度化地域の産業展への出展(板橋、江戸川、墨田)を支援してゆくと、各団体においても積極的な活動と成果を期待したい。

また、2日目は近年注目度が増している燕三条工場祭で3社を視察。2016年には会員企業4社

日北産業連合会会議室で工団連と共催の労務管理セミナーを開催した。セミナーは「働き方改革 これからの本番！」と題して、約2時間半にわたり行われた。

当日は、会員企業より32名が参加し講演に熱心に耳を傾けた。

工団連は引き続き会員団体の「ものづくり活動」を支援してゆくと、各団体においても積極的な活動と成果を期待したい。

先進企業視察研修会(文京、中野)などの活動が予定されている。

工団連は引き続き会員団体の「ものづくり活動」を支援してゆくと、各団体においても積極的な活動と成果を期待したい。

先進企業視察研修会(文京、中野)などの活動が予定されている。

業については、公募型共同研究の成果であるIoTを導入した製品試作や製造工程管理などの事例をご紹介します。加えて、2019年度に開始した二つの支援事業についてご紹介いたします。一つは「バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業」で、都産技研が培った高度なバイオ基盤技術を活用し、ヘルスケア産業市場における、中小企業の新規参入や事業拡大をサポートする事業です。もう一つは「プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト」で、「脱汎用プラスチック製品」の研究を通じてデザインや扱いやすさなどの付加価値を追求し、代替素材による製品化や量産化の支援を行う事業です。

業については、公募型共同研究の成果であるIoTを導入した製品試作や製造工程管理などの事例をご紹介します。加えて、2019年度に開始した二つの支援事業についてご紹介いたします。一つは「バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業」で、都産技研が培った高度なバイオ基盤技術を活用し、ヘルスケア産業市場における、中小企業の新規参入や事業拡大をサポートする事業です。もう一つは「プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト」で、「脱汎用プラスチック製品」の研究を通じてデザインや扱いやすさなどの付加価値を追求し、代替素材による製品化や量産化の支援を行う事業です。

業については、公募型共同研究の成果であるIoTを導入した製品試作や製造工程管理などの事例をご紹介します。加えて、2019年度に開始した二つの支援事業についてご紹介いたします。一つは「バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業」で、都産技研が培った高度なバイオ基盤技術を活用し、ヘルスケア産業市場における、中小企業の新規参入や事業拡大をサポートする事業です。もう一つは「プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト」で、「脱汎用プラスチック製品」の研究を通じてデザインや扱いやすさなどの付加価値を追求し、代替素材による製品化や量産化の支援を行う事業です。

費を負担(委託)して共同で開発を行う公募型共同研究開発事業において複数の案件が製品化を達成し、商業施設などと連携した実証実験を実施しています。さらに、技術開発にとどまらず、サービスロボット事業化交流会を通じ、ユーザー企業と開発企業、システムインテグレーターを含む共同体を形成し、ユーザー企業に沿ったロボットの成果展開を推進しています。

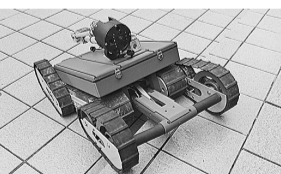
費を負担(委託)して共同で開発を行う公募型共同研究開発事業において複数の案件が製品化を達成し、商業施設などと連携した実証実験を実施しています。さらに、技術開発にとどまらず、サービスロボット事業化交流会を通じ、ユーザー企業と開発企業、システムインテグレーターを含む共同体を形成し、ユーザー企業に沿ったロボットの成果展開を推進しています。

費を負担(委託)して共同で開発を行う公募型共同研究開発事業において複数の案件が製品化を達成し、商業施設などと連携した実証実験を実施しています。さらに、技術開発にとどまらず、サービスロボット事業化交流会を通じ、ユーザー企業と開発企業、システムインテグレーターを含む共同体を形成し、ユーザー企業に沿ったロボットの成果展開を推進しています。

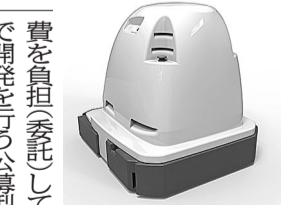
「ものづくり支援活動」により開発した各種ロボットを展示し、ご来場の皆さまにご紹介します。さまざまな分野で活用できる支援ロボットが大集合しますので、最新のロボット技術をぜひ体験してください。

「ものづくり支援活動」により開発した各種ロボットを展示し、ご来場の皆さまにご紹介します。さまざまな分野で活用できる支援ロボットが大集合しますので、最新のロボット技術をぜひ体験してください。

「ものづくり支援活動」により開発した各種ロボットを展示し、ご来場の皆さまにご紹介します。さまざまな分野で活用できる支援ロボットが大集合しますので、最新のロボット技術をぜひ体験してください。



インフラ/プラントロボット 点検&レポートシステム



ドライ掃除ロボット

東京都立産業技術研究センター「産業交流展2019」に主催者として出展

東京都立産業技術研究センター(都産技研)は、2019年11月13日(水)から15日(金)10:00～18:00(最終日は17:00まで)、東京ビッグサイト青海展示棟A・Bホールで開催される第22回産業交流展2019に主催者として出展します。

産技研のさまざまな支援事業とその成果、また、製品開発支援ポータルサイトの製品および技術開発事例などを展示し、皆さまにご紹介します。

技術開発や製品化のヒントとなる展示が多数ありますので、ぜひご来場いただき、情報収集・情報交換などの場としてご利用ください。入場は無料です。

この重点4研究分野の研究開発事例について、環境・エネルギー分野では「めっき排水規制に向けた都産技研の取り組み」、生

ルスカ分野では運動障害がある子供の歩行を補助する「子ども用歩行器」、機能性材料分野では「セルロースナノファイバー強化ポリプロピレン」、安全安心分野では「非常用マグネシウム空気電池」など、分野ごとに多数展示予定です。

また、都産技研のプロジェクト事業として、2017年度から実施している中小企業におけるIoT活用による生産性の向上やIoT関連の製品開発を支援するための中小企業のIoT化支援事業です。

また、都産技研のプロジェクト事業として、2017年度から実施している中小企業におけるIoT活用による生産性の向上やIoT関連の製品開発を支援するための中小企業のIoT化支援事業です。

大田工連青年部が「マッチングセッションOTA2019」開催

「マッチングセッションOTA2019」開催

大田工連青年部は、町工場と六郷工科高等学校の生徒さんとの出会いの場を作るイベント、「マッチングセッションOTA2019」を開催しました。

同校とは、これまでも学校見学会の開催などを通して交流がありました。が、今回は、より多くの生徒さんに町工場を知ってもらうため、1・2学年全員(約330名)とのコミュニケーションの場を設けました。

当日は、午前・午後2部での開催となりましたが、300名近い生徒さんの参加があり、出展した青年部所属企業2社若手経営者と活発な交流が行われました。

大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。

大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。

大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。

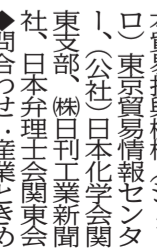
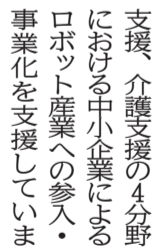
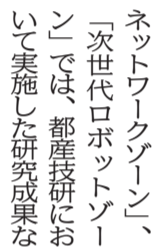
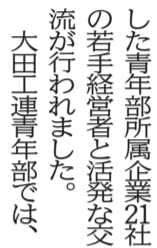
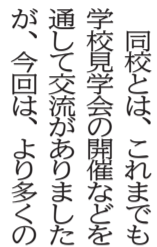
大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。

大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。

大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。

大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。

大田工連青年部では、今後も町工場と生徒さんとの交流を積極的に進め、ものづくりへの理解を深めていきます。



当日の会場の様子

フェアの様子

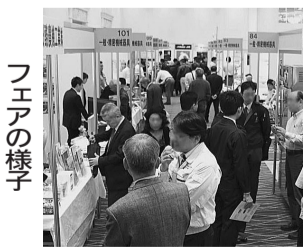
〒556-2105 五

in ED OGAWA 第21回 産業ときめきフェア

産業ときめきフェアは、製造業を中心とした企業が展示・実演などを通じて優れた製品・技術力を紹介し、ビジネス情報の交流促進や、企業の活性化を図ることを目的として開催します。ぜひご来場ください。

◆会場：11月15日(金)16日(土) 会場：タワールホール

◆後援：経済産業省関東経済産業局、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター、東京都教育委員会、(公財)千葉県産業振興センター、日本貿易振興機構(ジェトロ) 東京貿易情報センター、(公社)日本化学会関東支部、(株)日刊工業新聞社、日本弁理士会関東会 ◆問合せ：産業ときめきフェア実行委員会事務局(江戸川区生活振興部 産業振興課内) ☎五五六二一〇五五



◆後援：経済産業省関東経済産業局、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター、東京都教育委員会、(公財)千葉県産業振興センター、日本貿易振興機構(ジェトロ) 東京貿易情報センター、(公社)日本化学会関東支部、(株)日刊工業新聞社、日本弁理士会関東会 ◆問合せ：産業ときめきフェア実行委員会事務局(江戸川区生活振興部 産業振興課内) ☎五五六二一〇五五

工団連からのお知らせ

「令和元年度工団連会長表彰」並びに「令和2年工団連新年賀詞交歓会」の開催について

(1) 令和元年度工団連会長表彰

◆受賞者は各地域団体から推薦を受け工団連内審査委員会での審査を経て12月上旬には決定します。

(詳細は所属の地域団体に確認下さい)

◆日時：令和2年1月29日(水)

(2) 令和2年工団連新年賀詞交歓会

◆日時：令和2年1月29日(水)

この度の台風15号ならびに台風19号で被災されました地域の皆様にお見舞いと、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。



2018年度表彰式展

◆日時：令和2年1月29日(水)

◆会場：東京ビッグサイト

◆日時：令和2年1月29日(水)

◆会場：東京ビッグサイト

◆日時：11月13日(水) 10時～18時 (最終日は17時)

◆会場：東京ビッグサイト

◆日時：11月13日(水) 10時～17時

◆会場：東京国際フォーラム

◆日時：11月13日(水) 10時～17時

◆会場：東京国際フォーラム

◆日時：11月13日(水) 10時～17時

◆会場：東京国際フォーラム

◆日時：11月13日(水) 10時～17時

◆会場：東京国際フォーラム

◆日時：11月13日(水) 10時～17時

◆会場：東京国際フォーラム

工団連主催「中堅・若手社員コミュニケーション力向上研修」が好評のうちに終了

工団連では、令和元年度研修企画第2弾として「中堅・若手社員コミュニケーション力向上研修」を10月17日・24日の2日間、銀座プロサマ中央会館会議室で開催。6地域団体、7社、延べ26名が参加した。本研修は、会員企業の

中堅・若手社員の「コミュニケーション力向上」を図るをメインテーマに、昨年度よりリニューアルしてスタートしたもの。今年度は、参加者の利便向上を図り、開催日を2週に分けて開催。各社の次代を担う参加者は、講義とグループワークに2



舟久保会長の開会挨拶

日間熱心に取り組んだ。初日は「あらゆる人とのコミュニケーションを円滑化するタイプ別コミュニケーション」をテーマに、具体的な行動の有り

方をグループワークやロールプレイングを通して学んだ。また2日目は「部下の成長を促す指導スキル向上」をテーマに、現場におけるより実践的な場面を想定し、コミュニケーション・チームワーク強化の必要性を再確認した。

参加者からは、「コミュニケーションの重要性・難しさを実感できた大変役に立った」、「研修の成果を今後の日常業務に活かしたい」など前向きな感想が多くあげられた。

会員企業を取巻く人材採用・育成の環境は年々厳しい状況となっており、今後も会員企業の人材育成を積極的に支援していく。

工団連メールマガジン 発行準備中!!

工団連では現在、情報発信機能の強化を目指し、メールマガジンの発行準備を進めています。これは、HPの情報発信を補完するものです。11月初めの初号発行を目標として準備を進めていますので、ご期待ください。

東京ビッグサイトイベント案内(令和元年11月～2年1月)

※ものづくりに関係するイベントのみ掲載しています。 ※スケジュールは変更になる場合がございます。必ずHP等でご確認下さい。 東京ビッグサイトイベントウェブサイト：http://www.big sight.jp/event/

会期	来場区分	イベント名	主催者	問合せ先
10/25(金)～11/4(月)	一般	第46回東京モーターショー2019	(一社)日本自動車工業会/株東京ビッグサイト	*
11/13(水)～11/15(金)	商談	第22回産業交流展2019	産業交流展2019実行委員会	03-3263-8885
11/27(水)～11/29(金)	商談/一般	新価値創造展2019	(独法)中小企業基盤整備機構	03-5657-0848
12/4(水)～12/6(金)		IIFES 2019 (IIF:SCF/計測展 TOKYO)	(一社)日本電機工業会他	03-6811-8084
12/11(水)～12/13(金)		ものづくり補助事業展示商談会「中小企業 新ものづくり・新サービス展」	全国中小企業団体中央会	03-5644-7230
12/18(水)～12/21(土)		住宅・ビル・施設Week 2019	リードエグジジビジョンジャパン(株)	03-3349-8576
		2019国際ロボット展	(一社)日本ロボット工業会/日刊工	
		2019部品供給装置展	日本部品供給装置工業会/日刊工	03-5644-7221
1/15(水)～1/17(金)	商談	第34回ネフコンジャパン-エレクトロニクス開発・実装展- 第34回インターネフコンジャパン-エレクトロニクス製造・実装展- 第21回半導体・センサパッケージング技術展 第21回電子部品・材料 EXPO 第21回プリント配線 EXPO 第34回エレクトロニクスジャパン-エレクトロニクス検査・試験・測定展- 第10回微細加工 EXPO 第12回LED・半導体レーザー技術展 第12回オートモーティブワールド-クルマ先端技術展- 第12回「国際」カーエレクトロニクス技術展-カーエレJAPAN- 第11回EV・HEV 駆動システム技術展-EV JAPAN 第10回クルマの軽量化技術展 第8回コネクティッド・カー EXPO 第6回自動車部品&加工 EXPO-カーメカJAPAN- interOpto 2020	リードエグジジビジョンジャパン(株)	03-3349-8502
1/29(水)～1/31(金)		LED Japan 2020 TCTJapan2020-3Dプリンティング/AM技術総合展 ASTEC2020第15回先端表面技術展・会議 SURTECH2020 表面技術要素展 3次元表面加飾技術展 2020 新機能性材料展2020 JFlex 2020	(一財)光産業技術振興協会 JTBコミュニケーションデザイン JTBコミュニケーションデザイン他 ASTEC 実行委員会/JTBコミュニケーションデザイン (一社)表面技術協会他 加工技術研究会 /JTBコミュニケーションデザイン	03-5657-0769 03-5657-0760 03-5657-0850 03-5657-0761

生命共済・特定退職金共済制度加入のおすすめ

東京工業団体連合会では、(一財)全国中小企業共済財団(全共済)の生命共済と特定退職金共済を取り扱っています。 ◆お問い合わせは 東京工業団体連合会 (☎ 03-3546-2525)まで

生命共済制度(災害保障特約付福祉団体定期保険)の特徴

1. 安い掛金で、無診査(告知のみ)で加入できます。
2. 掛金は全額損金に算入できます。
3. 企業の福利厚生に適しています。
4. 加入月は毎月1日です。

加入資格と満了年齢

東京工業団体連合会加入団体の会員および従業員のみ加入資格があり、満年齢15歳から64歳までの方が加入できます。1年ごとに自動更新され、満70歳の年度末まで継続できる制度です。

保障内容と掛金

病気による死亡・高度障害(1口100万円)とケガによる死亡・高度障害(1口200万円)及びケガによる障害と入院を保障します。掛金は、年齢にかかわらず月額1口1,000円です。加入は最大2口です。

長寿祝い金(独自制度)

加入期間10年以上および満70歳の年度末まで加入いただいた方には、保険期間満了後に「長寿祝い金」を贈呈いたします。
・1口加入の場合は20,000円
・2口加入の場合は40,000円

特定退職金共済制度の特徴

内容

東京工団連加入団体の従業員(パート・アルバイト・臨時雇用を含む)の退職金を積み立てる制度です。退職金積み立ては従業員の確保と定着を図り、企業経営の発展に役立ちます。退職引当金が廃止になっている現在、外部積立で退職金を用意する制度の一つです。

加入資格

1. 満年齢15歳以上、70歳未満の従業員(加入継続は80歳に達した時点まで)。
2. 従業員給与部分を受ける使用人兼務役員。ただし該当する兼務役員は全員加入します。
3. 加入する場合は全従業員に加入をお願いします。(任意包括加入：ただしパート、アルバイト、臨時雇用の方の加入は任意)

掛金

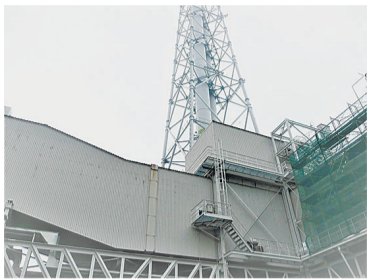
1. 基本掛金：従業員1名につき月額1口1,000円から最高30口30,000円まで加入できます。
2. 口数の増加：基本掛金月額30口30,000円の範囲で増口できます。

給付金

1. 加入従業員が退職した時は退職一時金が支払われます。
2. 遺族一時金：加入従業員が死亡退職した時は退職一時金に基本掛金1口につき10,000円の弔慰金を加算した額が遺族に支払われます(遺族とは労働基準法施行規則に定める遺族保障の順位によります)。
3. 退職年金：加入従業員が加入期間10年以上で退職し、年金受給を希望された時は退職年金が10年間支払われます。ただし、年金月額が10,000円以上になる場合に限りです。なお、加入従業員が年金受給期間中に死亡されたときは残存期間分の年金に代え未払年金の年金原価相当を一括して遺族にお支払します。
4. 解約手当金：途中で契約を解約された場合は、解約手当金(退職一時金給付額と同額)が加入従業員に支払われます。「解約」される場合は、加入者(被共済者)全員の「解約同意書」が必要です。

企業リレー探訪 ⑥

株式会社田中電気研究所
代表取締役 田中 敏文



700MW 石炭火力発電所の電気集塵機出口でばいじん濃度連続測定を行なうダスト濃度計 DDM-2001

父の時代で法人格になりました。そのころから放射線機器の製造受託と言った下請けを行なうことで高度な製造技術及び品質管理を学びました。平成4年に3代目であるわたしの時代になり、自社製品「ダスト濃度計」の開発製造に際しても大企業の下請けで培った技術を基にして、全国の電力会社、製鉄所に対して自社ブランド製品を販売することができました。

と共に関係会社を立ち上げ、幹事として原案を作成致しました。本年末までは製品規格の原案を日本工業界の仕事を探すこと

「生きることは挑戦する」と、この言葉は当社島田工場がある栃木県の福田富一知事から頂いた言葉です。当社の様な小さな企業が下請けからの脱却ではなく、下請けと自社ブランド製品とのバランスを取った経営を行うために様々な機会を見つけて挑戦し続けた結果、経済産業省の新市場創造型標準化制度にたどり着きました。

その結果当社が提案企業となつて自社製品であるダスト濃度計のJIS制定に繋がり、更に現在ではその製品規格を作成しています。

それを基に国内に留まらず、世界市場への展開に挑戦するつもりです。解らないからと言って挑戦しなければ何も始まりません。挑戦すれば解らない事だらけで恥をかきかもしませんが恥を恐れず挑戦していけばきっと何かを得られることを身をもって体験しています。当社はその様に恥かきを恐れず挑戦し続ける会社でありたいと思います。

昭和24年に通産省電気試験所大阪所長だった祖父が創業し、昭和38年に

客先対応及び報告書作成を行うなどした結果、現在では社員だけで現地対応が出来るようになりました。思い起せば「下請けと度異なる」「自社ブランドを背負って客先作業」を理解出来る様になるまで毎年努力を重ね、凡そ20年掛かってベクトルを合わせることが出来ました。

恥かきを恐れず挑戦続ける

標準調査会(JISC)へ申し出を行い、審査会対応を予定しています。審査会を通り、JIS発効になることで、日本においても漸くダスト濃度計の標準化が出来ます。

口でしたが、自社製品を納入した後、電力会社の火力発電所など現場で調整作業をすることは未経験のために、誰もが怖がっていました。

下請けとは異なり、当社社員が矢面に立つて大手企業の担当者に対応するには経験が必要です。当初10数年間は私が社員を連れて現地へ赴き、

あり、まだまだ二ツな市場です。環境先進国と言われる日本でもダスト濃度計の設置義務は無く、排出される有害物質を二元管理するために義務化している中国や韓国に比べて遅れているのが現状です。

とす経営計画を持っていきます。とは言え、温暖化対策を対象とした2016年発効のパリ議定書により、石炭火力発電所へは逆風が強まりつつあり、現在は新設及び既設へのダスト濃度計売り込みの機会は増えています。将来は先細りが心配です。

ダスト濃度計に関しては、海外展開も計画していますが、更に石炭火力発電所以外の市場開拓も必要です。そのためには違った業界への展開も待ったなしと思っています。当社は下請け業態から自社製品を持つ事業への展開を行いました。必ず考えることは、違った業界の仕事を探すこと

父の時代で法人格になりました。そのころから放射線機器の製造受託と言った下請けを行なうことで高度な製造技術及び品質管理を学びました。平成4年に3代目であるわたしの時代になり、自社製品「ダスト濃度計」の開発製造に際しても大企業の下請けで培った技術を基にして、全国の電力会社、製鉄所に対して自社ブランド製品を販売することができました。

一言で下請けと自社製品とのバランスを取った経営と言っても一朝一夕では出来ませんでした。先代が育てた社員は工場の中で電子機器を組み立てることに慣れては

この様にして自社製品を立ち上げることが出来ました。ダスト濃度計には標準の規格がありません。そのため、ユーザーである電力会社などの固定発生源を持つ事業所では、あくまで自主管理計器としての位置付けで

大気汚染防止法にダスト濃度計のデータも使えるようになることで、市場は急拡大すると思われま。当社は規格作りから市場創造までをトータルとして考え、自社製品の販売比率を50%以上へ

中国古語で言う「狡兎三窟(じょうとぎんく)」を経営に取り入れていきます。賢いウサギは逃げ道の穴を3つ持つ様に、当社も異なった事業領域をいくつも持つことで危険分散をする経営です。例えば下請けとして仕事を頂いている業界には放射線測定器、半導体検査設備、自動車用生産設備、ガス検知器など、異なった事業領域があります。しかしながら、すべての事業領域がいつも好景気であることは余りありません。

さ、ら、い、ろ、う。

未来をひらく、世界の窓口。

TOKYO BIG SIGHT